

日本看護協会、日本医療機能評価機構医療事故防止事業部、  
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業部、  
日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部、日本訪問看護財団、  
日本助産評価機構が、医療安全に関する最新情報を紹介します。

# 医療安全トピックス TOPICS

Vol. 148

古賀 華子

日本看護協会看護開発部 看護業務・医療安全課

## 患者・利用者のさらなる安全確保・推進に向けた 2022年度の医療安全について 日本看護協会の取り組み(総括)

日本看護協会は看護職の職能団体として、患者・利用者の安全と看護の質の向上のためにさまざまな医療安全事業を展開しています。今月号は、2022年度に実施した主な取り組みを振り返ります。

日本看護協会(以下: 本会)は、看護の質の向上のために、看護が提供される場での安全の確保と推進をめざして、事故の未然防止・再発防止の視点で取り組みを進めています。

2022年度は、「事故の未然防止・再発防止の立案・実施の推進」と「あらゆる場における安全管理体制の整備の支援」の2つの柱で事業を展開し、また、医療安全への患者参画をテーマにした取り組みも進めました。本稿では、これらの概要の一部をご紹介します。

### ●医療安全管理者養成研修の実施

事故の未然防止・再発防止において、医療機関には医療安全文化の醸成を促すとともに、組織全体として安全管理体制の構築・確保に向けた自律的な取り組みが求められます。また、地域包括ケアが推進される中、職種や施設を超えた連携・協働による地域全体の医療安全の確保が必要であり、医療安全管理者はその取り組みを牽引するための重要な役割を果たします。

本会では、質の高い医療安全管理者を全国規模で養成することを目的として、2021年度より、インターネット配信研修と都道府県看護協会と連携した全国各地での集合研修を組み合わせた「医療安全管理者養成研修」を実施しています。なお、本研修は

2020年3月改訂「医療安全管理者の業務指針および養成ための研修プログラム作成指針」に準拠しており、「医療安全対策加算」にも対応しています。

2021年度は約2500名、2022年度は約2700名から本研修に申し込みがありました。2021年度の受講後のアンケート結果では、「基礎から実際までを体系的に学ぶことができた」「医療安全全般における必要な知識習得のための内容が網羅されており勉強になった」「演習で他施設の受講生と情報交換や情報共有することで学習の理解が深まった」などの声が寄せられ、好評を得ました。

次年度も、安全管理業務を遂行するために必要な知識・技術の習得や、実践方法の理解がさらに進むよう、本研修を実施予定です。各施設の医療安全管理者の方や医療安全管理者に就く予定のある方などにおきましては、ぜひご活用ください。

### ●「看護職賠償責任保険制度」研修会の実施

本会が運営する「看護職賠償責任保険制度」(以下: 本保険制度)では、医療安全対策の一助となるよう研修会を実施しており、第25回となる今年度の研修は「薬剤誤投与における法的責任とエラー防止対策」をテーマに2022年10月に開催しました。

薬剤投与は看護職が直接的に実施することの多い医療行為の1つです。事故防止のために、製薬会社